

「種の保存法」により、  
**オキナワセッコク (タケラン)** は  
国内希少野生動植物種に指定されており  
**採取**や**国内取引**が**規制**されています



© 西山桂一

オキナワセッコクの花

採らないで  
売らないで  
買わないで

無許可で生きている個体を採取したり傷つけたりした場合、  
**懲役1年以下、罰金100万円以下の処罰の対象となります。**

### お問い合わせ先

環境省

那覇自然環境事務所

〒900-0027 沖縄県那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル4階

電話: 098-858-5824 FAX: 098-858-5825

やんばる野生生物保護センター

〒905-1413 沖縄県国頭村比地263-1

電話: 0980-50-1025 FAX: 0980-50-1026

**オキナワセッコク**と**クニガミトンボソウ**は、これらの野生個体群が生育地の森林の伐採等により減少し、絶滅のおそれが生じていることから、野外個体の採取や採取された個体の流通等を規制するため、平成14年9月1日より**国内希少野生動植物種**に指定されています。

### **オキナワセッコク** (俗称:タケラン)

*Dendrobium okinawense* Hatusima et Ida

かつて本州から九州にかけて生息するセッコク *Dendrobium moniliforme* (L.) Sw.と同じ種であると思われていたが、1970年、国頭村与那覇岳で採取され福岡で栽培されていた標本に基づいて記載された。セッコクに比べ、植物体が大きく、花の唇弁の形状が異なる。

沖縄島北部の雲霧帯にある自然林や、溪流の上流から中流にかけての溪流沿いの自然林に生育する。いずれも空中湿度の高いところであり、イタジイやオキナワウラジロガシの大径木の樹幹の上部に着生する。常緑の多年草で、多肉質。樹上に着生する。花は白色または淡紅色で2～3月頃に開花する。

### **クニガミトンボソウ** (別名:ソノハラトンボ)

*Platanthera sonoharai* Masamune

1964年、沖縄県国頭村で採取した標本に基づいて記載された。*sonoharai*は、採取者の園原咲也氏を記念したもの。小型の夏緑多年草で、沖縄島北部の溪流の水がやや滞水するような浅い淵の水際などに生育する。

本土復帰以後に沖縄島北部の主要河川にダムが建設され、主要な自生地のは大半は水没したものと思われる。現存する生育地は狭い地域に限られ、個体数は少なく、全体でも数百個体程度と考えられる。



### **「種の保存法」とは**

国内外の絶滅のおそれのある野生生物を保護するために制定した法律で、正式には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」といいます。**希少野生動植物種**を指定し、それらの「捕獲・採取」「譲渡し・譲受け」「輸出入」等を規制しています。

### **「希少野生動植物種」とは**

**国内希少野生動植物種**(国内に生息・生育し、絶滅の危機に瀕している種)と、**国際希少野生動植物種**(渡り鳥条約等に基づき指定された種とワシントン条約附属書 に掲載された種)の二種類があります。